

上桜田の神社守護の獅子頭

上桜田の岡崎市三良さんから直接伺った話です。「この町内会地区には、誰でも拝める六つの神社・お堂があって、昔は正月三が日は扉を開けてくれることから地域の多くの人達がお参りに行ったものだ。」

六つの「お社・お堂」とは、①村社の(上桜田)月山神社(町内会管理)、②太子殿(舟越作兵衛さん管理)、③山の神社(耕源寺管理)、④地藏堂(岡崎市三良さん管理)、⑤熊野神社(柴田九右エ門さん管理)、⑥八幡社(佐藤友美さん管理)で図-1のとおりです。

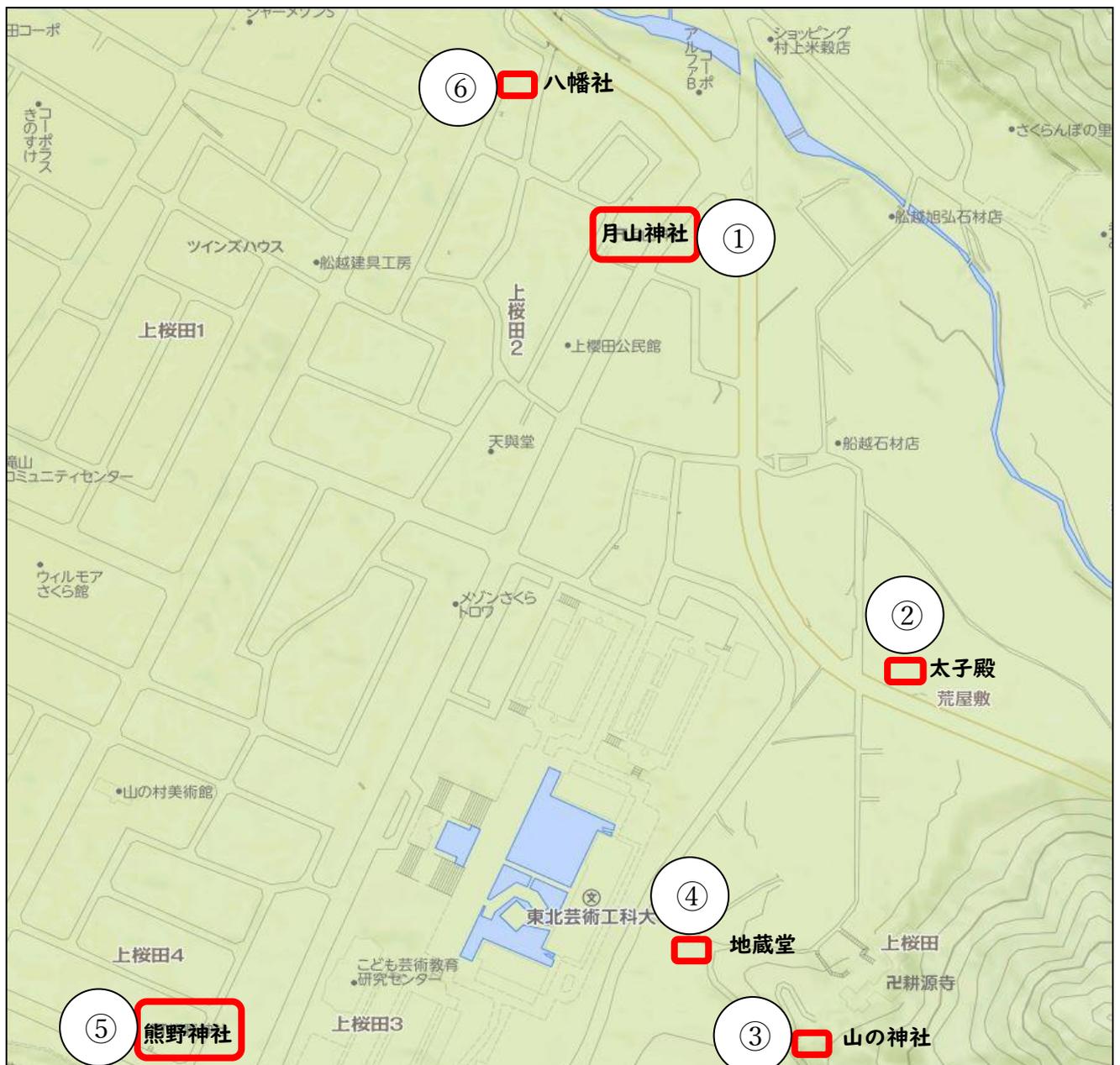


図-1

これらには共通して「獅子頭」を祀っている（図-2）ことに気が付きました。無いのは④地蔵堂だけです、仏像を祀っていることから、仏を祀る「お堂」には獅子頭は祀らないようであることが分かりました。インターネットで調べた処「獅子は本来的には中国で成立した破邪の靈獣である。獅子はやがて社殿を守護する獅子や狛犬(狛犬)の彫刻像となって祀られ広まった」とあります。神社には、その守護神として祀ることになった背景が明らかになりました。

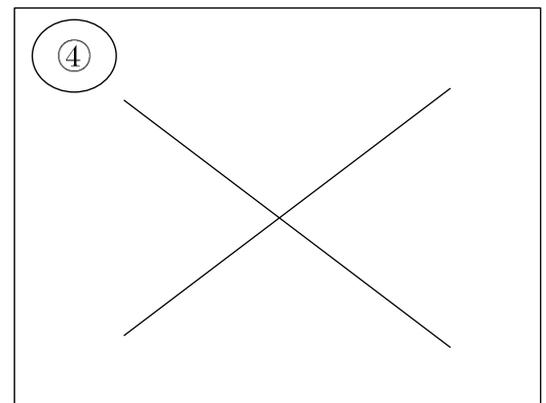
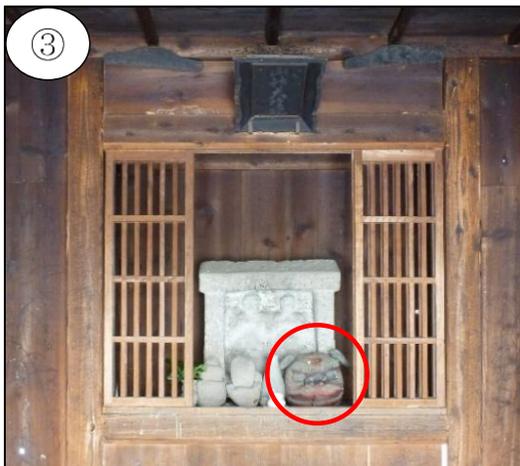


図-2

それにしても、吾が上桜田町内会の6社についても、悉くに日本の伝統文化がここにも共通して息づいている事に安堵しています。

(end)